

第8回 京都府がん医療戦略推進会議の開催概要

1 日時

平成30年8月6日(水曜)午後3時から午後5時まで

2 場所

京都ガーデンパレス 葵の間 (京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605)

3 出席団体

<がん診療連携拠点病院>

京都府立医科大学附属病院
京都大学医学部附属病院
京都第二赤十字病院
京都市立病院
京都第一赤十字病院
京都医療センター
京都桂病院
市立福知山市民病院

<地域がん診療病院>

京都岡本記念病院
京都山城総合医療センター
京都中部総合医療センター
京都府立医科大学附属北部医療センター

<京都府がん診療連携病院>

宇治徳洲会病院
舞鶴医療センター

<関係団体>

京都府医師会
京都府病院協会
京都私立病院協会

<オブザーバー:京都府がん診療推進病院>

洛和会音羽病院
京都鞍馬口医療センター
京都民医連中央病院
綾部市立病院

<京都府>

4 議題

1 報告事項

- (1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会(7/9 国立がん研究センター主催)の開催結果について
- (2) がん診療連携拠点病院等の整備について
- (3) 第2期京都府がん対策推進計画について(2018~2023年度)
- (4) がん診療連携拠点病院の取組み(PDCAサイクル)について
(地域がん診療連携拠点病院:京都第二赤十字病院・京都市立病院から事例紹介)

2 協議事項

各部会の活動について

5 議事概要・主な意見

1- (1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 (7/9 国立がん研究センター主催)の開催結果について

平成30年7月9日に開催された上記会議について、厚生労働省からの伝達事項を中心に報告。

<質疑>

特になし

1- (2) がん診療連携拠点病院等の整備について

平成30年7月31日付け「がん診療連携拠点病院等の整備について」の通知文について、新旧対照表を用いて、改正点を説明。

<質疑>

指定要件の詳細についての質問については、通知が出た段階であるため、後日、拠点病院等からの質問を受け付けることとした。

1－（3）第2期京都府がん対策推進計画について（2018～2023年度）

平成30年3月に策定した第2期京都府がん対策推進計画の「がん医療体制の整備・充実」「がんと共生社会の実現」の2本の柱について、拠点病院等の数値目標等を掲載している内容を説明

<質疑>

特になし。

1－（4）がん診療連携拠点病院の取組み（PDCAサイクル）について

- ・都道府県がん診療連携拠点病院の京都第二赤十字病院・京都市立病院から事例紹介があった。

<京都第二赤十字病院>

- ・がん診療推進室を設置して、院内の課題の共有や組織的な改善策を講じている。

<京都市立病院>

- ・外来化学療法センターにおける患者増加への対応として、待ち時間の短縮化や休日開院の実施のための取組みなどについて、紹介があった。

2－（1）各部会の活動について

(ア)各部会からの活動報告

部会活動報告、活動状況、部会活動における課題、今後の方向性について
部会長等から報告

○院内がん登録部会

- ・第42回～46回の院内がん登録部会及び研修会を開催した。
- ・課題として、院内がん登録の指導者研修を受講した「指導者」について、研修制度がなくなったため、運営に支障が出ている。
- ・9月29日、9月30日に第7回院内がん登録セミナー2018京都を開催予定。

○相談支援部会

- ・第23～24回の相談支援部会を開催した。
- ・相談支援について、PDCAサイクルを確保し、活動の可視化及び質の向上を図る必要がある。
- ・がん患者の就労支援の具体的な取組みや認知症がん患者への対応について情報共有を行った。

○研修部会

- ・各病院の研修状況を取りまとめ、その情報を京都府 HP で掲載。
- ・外来化学療法部会と連携して、研修動画を作成し、facebook で視聴できるようにした。
- ・事前アンケートによると、今後取り上げていきたい研修のテーマは「拠点病院と地域医療機関との連携」が多数を占めた。

○緩和ケア部会

- ・医師向け緩和ケア研修会を各拠点病院等で実施
- ・看護師向けの ELNEC-J 研修会の実施(平成 29 年9月に開催)
- ・今後は、新規に緩和ケア病床開設を計画している施設に対して、様々な面で支援・サポートや、各施設での緩和ケア病床運営面での課題や問題点を共有し、改善に向けて支援する。

○外来化学療法部会

- ・平成 29 年9月5日に「免疫チェックポイント阻害剤の副作用対策～チームアプローチの重要性～」を開催し、各施設における副作用対策のマニュアルの整備を促した。
- ・部会では、症例が少ない施設もあるため、情報収集の場として貴重である。
- ・今後は、ゲノム医療に関する情報提供についての要望が多いため、次のテーマとする。

○地域連携部会

- ・がんに係る地域連携手帳の運用状況アンケートを実施中。
- ・今後は、各地域医療連携担当者間での情報共有等を検討していく。

(イ)主な意見

○院内がん登録部会関連

- ・院内がん登録の指導者について、京都府がん医療戦略推進会議で指定するなどの対応ができないか。

→ (京都府回答)

一定の整理をした上で判断したい。

○相談支援部会関連

- ・がんゲノム医療に関する相談については、非医療従事者向けのがん相談マニュアルを既に作っており、ホームページで公開されているので参考にしてほしい。

※ゲノム医療従事者の育成プログラム開発 <https://www.genomicx.net/>

- ・がん患者に対する就労支援について、病院側も産業医との連携により診療報酬として算定できるようになったため、がん患者さんにも企業にも情報提供していきたい。

○研修部会関連

- ・がん地域医療連携力向上研修を実施したところ、大変好評であった。このような研修を地域で実施していくことが重要。

○緩和ケア部会関連

- ・緩和研修会について、多くの医療従事者が研修を修了して、未修了の方が少なくなってきているのではないか。

○外来化学療法部会関連

- ・免疫チェックポイント阻害剤などの副作用対策が難しい薬が多く出てきたが、京都市外に居住の患者さんが京都市内の拠点病院で治療をされた後、自宅で調子が悪くなって、救急で運ばれるケースがある。個人病院等では、急変時の対応などが困難であるケースもあるため、救急時の連絡窓口を明確にするなどの対策が必要。

○地域連携部会関係

- ・地域連携手帳については、今後どのように使っていくか具体的に示してもらえると、利用の可能性が出てくると思われる。

○全体を通して

- ・京都府がん医療戦略推進会議の各部会活動について、もっとホームページに掲載するなどの周知が必要。

以上